

## 工事事例のご紹介

# 変速弁・調圧弁油圧検査装置の オーバーホール

修理に困っている試験装置や油圧機器はございませんでしょうか。  
今回は油圧検査装置のオーバーホール工事をご紹介します。

### ●対象装置

20年前に京二が設計・納入した油圧検査装置（用途：油圧弁の動作、耐圧確認）

### ●問題点

- 電源を投入しても、操作盤電源が入らず正常に起動しない。
- 制御盤内のシーケンサCPUユニットのRUNランプがエラー警告
- 事前診断の結果ではシーケンサプログラムが消滅してCPUの復帰ができない

### ●オーバーホールの目的

- 上記問題の解消 及び 使用期間の延長

### ●作業内容

#### ■電気系統の修復

- ラダー図（印刷物）より、寸断されていたラダープログラムを復活
- 経年劣化部品の交換（シーケンサ、パワーサプライ、リレー、タイマー）
- シーケンサにラダープログラムをインストール

→上記により、電源投入の正常化

#### ■ハードの交換

- 経年劣化部品の交換（フィルタエレメント、エアブリーザ、ストレーナ、フロートスイッチ、圧力測定表示部品）

#### ■作業油の交換

- 全作動油の回収、及びマグネットセパレータ及びタンク内の清掃
- 作動油1500リットルの交換、及び外部ループ運転装置（8μ）によるフラッシング

#### ■動作確認・調整作業

- IOチェック及び実機動作の照合、デバック
- 供試体の据付け、各機器の設定調整、検査精度の動作確認
- 外部油洩れ箇所の配管継ぎ手の増し締めとカラーチェック

### ●結果

工事期間は2回部構成の計7日間でした。油圧試験装置として規定性能が十分に満足され安全装置としての機能も正常に働いており、故障箇所、懸案事項も全て解決することができたのでお客様にもご満足いただけました。

オーバーホールのご相談がございましたらお気軽にお問合せください。



南関東営業所 所長

**熊谷康之**